

日 時：平成27年5月12日（火） 午後2時～3時30分

場 所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

出席者：構成員 25名

祖母井，野崎，菅野（代理），橋本氏（代理），蟹谷氏，
増田氏，本間氏，踊場氏（代理），柏葉氏，荒川氏，谷口
氏，東氏，村田氏，佐藤氏，馬場氏，森田氏，森田氏，
東（代理），越原氏，四宮氏，秋山氏，高野氏，高橋氏，
辻榮氏，砂田氏（代理）

事務局 3名

政策推進課長 谷口 ほか2名

関係者 5名

（一社）北海道開発技術センター 大井氏

小鳩交通（株） 住吉氏

傍聴者 6名

1 開 会

2 議 事

- 1) 平成26年度事業結果及び決算，平成27年度事業計画（案）及び予算（案）について
資料1-1, 1-2をもとに，平成26年度事業結果及び決算を，資料2をもとに会計監査結果を報告し，
了解を得た。（監査報告は馬場監事より報告）
また，資料3-1, 3-2をもとに，平成27年度事業計画（案）及び予算（案）を説明し，承認を得た。

2) 来年度の地域協働推進事業について

資料4-1をもとに，本年度の地域協働推進事業について，昨年度と同様の事業者（北海道開発技術
センター）と契約することを説明し，承認を得た。

また，資料4-2をもとに，本年度の地域協働推進事業の企画案について，委託予定事業者から説明。
その後，質疑応答。

構成員 1) モビリティマネジメントについて，旭川の学生のうち何パーセントの規模か。また，対
象選定にあたっては，母集団を代表していることが必要ではないか。また，効果検証に
ついてはどう考えているか。（例えば対照比較が必要ではないか？）

事務局) サンプルとしての割合や代表性については，実験的な取り組みなので弱いところである。
効果測定については次回までに検討させていただきたい。

受託者) 効果検証については，意識の変容と行動の変容を尺度に設定して検討していきたい。

構成員 2) 帯広では学校モビリティマネジメントで，コントロール群と非コントロール群の対照実

験を行い、有意な結果が得られたと聞くと、そのような検証は行うのか。

受託者) 現在は、モビリティマネジメントの事前事後の変化を比較するということまでしか想定していない。対照実験は学校からの協力という点で難しい面もある。

以上、質疑終了。企画案について了承。

3) 生活交通改善事業計画（利用環境改善促進等）について

資料 5-1, 5-2 をもとに、本年度の生活交通改善事業計画について、各事業者より説明。その後、質疑応答。

構成員) 今回のタクシー車両は道路運送法 4 条許可（福祉輸送限定許可）か。

事業者) 4 条許可である。

以上、質疑終了。各計画について了承。

4) 旭川市生活交通ネットワーク計画について

資料 6 をもとに、来年度の米飯デマンドに係る旭川市生活交通ネットワーク計画について説明。その後、質疑応答。

構成員 1) 評価指標について、定量指標だけではなく、質的な指標も重要ではないか。

事務局) 事業者の努力を質的な面で評価することは重要だと思うので、今後、検討させていただきたい。

構成員 2) 定量指標の 1 日あたりの目標乗車人数について、絶対数ではなく、地区人口に対する割合のほうが良いのではないか。

事務局) 最適な方法を検討させていただきたい。

以上、質疑終了。計画について了承。

5) 平成 27 年度旭川市生活交通路線について

資料 7 をもとに、旭川市生活交通路線について、米飯のデマンド路線を認定願いたい旨、説明。了承を得た。

6) 各種報告

事務局より、バスロケーションシステム導入調査事業の実施について報告。

3 閉 会

事務局) 次回の交通会議は来年度、秋の開催を予定している。

以 上